

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…あいかの里介護福祉サービスセンター

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和 6年 9月 24日

開催場所…あいかの里 会議室

出席者

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	4人
松江市職員	0人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他 ()	0人

議事

1. 自己紹介

2. あいかの里介護福祉サービスセンターの現状・様子等の報告

- ・利用者の概要、令和6年度4月～8月の実績・省顧、年間予定、苦情・事故・ヒヤリハット等を資料に添って説明

平均介護度 3.27、平均年齢 86.5歳、ほぼ湖北地区もその他地域からの利用者あり
R6年度 平均利用者数目標 6.5名→実績平均 7.14名

昨年度低迷した事から目標を低めに設定しており、手放しで喜べる実績ではない。出来る範囲内で経費節減などに取り組んでいる。

- ・事故・苦情・ヒヤリハット等 (R6.3月～R6.8月)

事故5件、苦情1件、業務失念4件、ヒヤリハット1件

※事故・苦情・業務失念・ヒヤリハットの内容説明、行事写真等はパワーポイントで紹介

- ・実習等受け入れ1件

湖北中学校3年生社会体験学習2名・・・9/3～5 (第1デイ・第2デイで実施)

3. 意見交換 (質疑応答、感想、要望等)

地域の方より→事故が4月から毎月あるがすべて内容は違うのか?

デイ所長より→すべて違う内容。重大ではないが、入浴後の微出血や気遣い・配慮が必要な場面が多かった。介助が多い分安全に気をつけ、注意を払う必要がある。

地域の方より→コロナが5類になりその後、家族が感染した。父と同居しておらず、私も症状等ない為、デイと相談し利用させてもらった。

デイ所長より→現在も利用者や同居家族が感染した際は連絡してもらっている。医師より待機指示があった期間、最低でも 5 日間はデイ利用を控えてもらっている。この先もコロナはなくなる。高齢者施設で働く者とし人込みでのマスク着用、手洗い・うがい励行し体調管理に努め、送迎車両やデイルームなども換気を行い感染予防策継続し対応している。何かあれば相談してほしい。

包括職員より→大雨等あったが、浸水等の被害に遭われた利用者はなかったか？送迎に支障があったか？

デイ所長より→利用者宅の被害については何も聞いておらず被害に遭われた方はなかった様。幸い、土地の低い場所（黒田町・春日町方面）の送迎がなく被害や送迎への支障はなかったが、大雨時は早めに帰宅した日もあった。今年 1 月の積雪では送迎に向かうが大雪で迎えに行けずお断りする方もあった。大雨・台風時などは災害情報を確認していく必要がある。

地域の方より→大雨・大雪等で迎えに来れない場合、家族も理解しているのでは？道路状況にもよるが、ルートを考えいつもより大回りをして送迎するのも一つの手だと思う。

デイ所長より→平時より大雨になるとどの辺りが浸水するのか等リスクに対して情報収集や確認していくことが大切と考える。

地域の方より→コロナ前は秋鹿地区敬老会をあいかの里ホールを借り開催していた。当初秋鹿小学校体育館で開催を考えていたがエアコンがない為、秋鹿公民館で開催した。対象者が増え今年は 70 歳→75 歳に引き上げたが参加者は 130 名程度あり、非常に手狭であった。催し物の際、あいかの里ホールでさせてもらうことはまだ難しいだろうか。

デイ所長より→上司に確認し、後日連絡させて頂く。

次回開催予定 令和 7 年 3 月

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○